

平成 25 年度草津市ガーデニング推進事業

第4回 ガーデニング講座



日時 平成 26 年 1 月 25 日 (土) 10 時 ~ 12 時

場所 草津市役所 2 階 特大会議室

内容 1 部 ガーデニングとまちづくりのお話

2 部 ガーデニング講座

「年中たのしめるインテリアガーデン」

—観葉植物を使った身近な緑の取り入れ方—

第1部 ガーデニングとまちづくりのお話

世界の各地で、まちづくりにガーデニングを取り入れる取り組みが進んでいます。その手法の代表が『コミュニティガーデン』です。コミュニティガーデンの発想の特徴は次の通りです。

- ・「個人の庭」から、市民が協働の仕組みを構築し、「みんなの庭」に進化させる。
- ・街角や軒先、店先など街をトータルに一つの庭と見立て、「街は園芸空間」と捉える。
- ・めざすところは「人と自然」「人と人」「人と地域」のよりよい関係がテーマとなる。
そのための効果的な活動の例として、次のような方法が取り入れられている。

草津市でも、「個人の庭」から、街を「みんなの庭」と見立てて、美しく自然な風景を、まちなかに統一感を持って創り出すことで、まちづくりに役立てる取り組みを進めています。



■店先と駐車場のわずかな空間も生かし街角のガーデン空間に。



■マンションの中にガーデンに囲まれた広場が人々の出会いや交流を生み出す。



■マンションのハーブガーデン。収穫して暮らしに役立てたり、住む人同士をつなぐ。



■ガーデニングのフィールドがまちなかへ広がっていく。

1. 草津市のまちづくりとガーデニング

草津市では、「ガーデンシティ」「ガーデンミュージアム」を合言葉に、市民と市が一体となって街の魅力化、活性化に取り組んでいます。その実現に向けて、ただ「目に見える緑」ではなく、みんなで植え、育てること、そして他のまちにはない生き生きと美しいガーデン風景を、街の中に広げていこうとしています。

そのためのチームづくりがまず大切だとの考えから、ガーデニングサークルをつくり、広げ、活動を強めていこうとしています。

これからやりたいこと、今進行中の「ガーデニングまちづくり」は、次のように、いろんな形で展開しています。

■草津川跡地賑わい空間整備事業（設計中、来年度以降着工）

廃川となった天井川を活用したガーデン空間とテナントミックスを展開し、草津らしい賑わい空間を創出



■アニマート跡地賑わい空間整備事業（来年オープン予定）

JR草津駅前でのガーデン整備と魅力あるお店のテナントミックスを展開し、人が集い、憩う活性化のモデル事業とする。



■ガーデンストリート事業

商店街の通り沿いにテーマ性のある統一コンテナを設置し、彩りある景観を創出。

- ・本陣・本町エリア
- ・JR草津駅周辺商店街



■モデルガーデンづくり

- ・JR草津駅前デッキ（制作済）
- ・JR南草津駅西口（制作済）
- ・各地域の「ご近所ガーデン」（今後有志がいるところで展開）



2. 草津市での取り組み

■平成 24 年度

(1)ガーデニング講座

- 〔第1回〕平成 24 年5月 13 日(日) 「ガーデニングのコツ、寄せ植えの作り方」
- 〔第2回〕平成 24 年8月 11 日(日) 「庭づくりの基礎、寄せ植えの実践」
- 〔第3回〕平成 24 年 11 月 24 日(土) 「ハーブのお話、ハーブの寄せ植えの作り方」
- 〔第4回〕平成 25 年3月 24 日(日) 「ガーデンデザインについてのワークショップ」

(2)ガーデニング先進地視察

- 〔第1回〕平成 24 年6月 16 日(土)
神戸・トアロード、大橋7丁目再開発ビル、宝塚・シーズンズ、西宮・ウーバレ・ガーデン
- 〔第2回〕平成 24 年 10 月 21 日(日)
福知山・ゆらのガーデン、三木市・風雅舎

(3)JR草津駅前デッキ・モデルガーデンの企画、制作(平成 24 年 11 月 24 日(土))

■平成 24～25 年度

(1)草津川跡地賑わい空間整備事業計画への参加(草津市草津川跡地整備課担当)

- ①ガーデンデザインワークショップ(計3回)
- ②市民フォーラム(計2回)

(2)アニマート跡地賑わい空間整備事業計画への参加(草津市まちなか再生課担当)

- ①緑化広場ワークショップ(計3回)
- ②ガーデンの制作参加(予定)

■平成 25 年度

(1)ガーデニング講座

- 〔第1回〕平成 25 年6月 22 日(土) 「ハーブの寄せ植え」
- 〔第2回〕平成 25 年9月 8 日(日) 「ガーデンのリニューアルと草津の良いガーデンの紹介」
- 〔第3回〕平成 25 年 11 月 23 日(土) 「クリスマスとお正月の寄せ植え」
- 〔第4回〕平成 26 年1月 25 日(土) 「インテリアガーデンと hidroカルチャー」

(2)〈サークル自主企画〉ガーデニング先進地視察 (H25.10/5実施)

宝塚・シーズンズ、三木市・風雅舎、三田市・個人邸ガーデン見学

(3)モデルガーデン1の管理(JR草津駅前デッキ 毎月第4土曜管理)

(4)モデルガーデン2の企画、制作、管理(JR南草津駅西口 H25.9/28 実施、毎月第4土曜管理)

(5)〈草津市商店街連盟主催〉商店街ガーデンストリート事業参加(平成 25 年 10 月3日実施) 定期的な点検等、お手入れの協力(毎月第4土曜日手入れ協力)



ガーデニング通信 Gardening Letter

Vol.5

草津市 都市建設部 公園緑地課 〒525-8588 草津市草津三丁目13番30号
Tel.077-561-2393/Fax077-561-2487 E-Mail koen@city.kusatsu.lg.jp

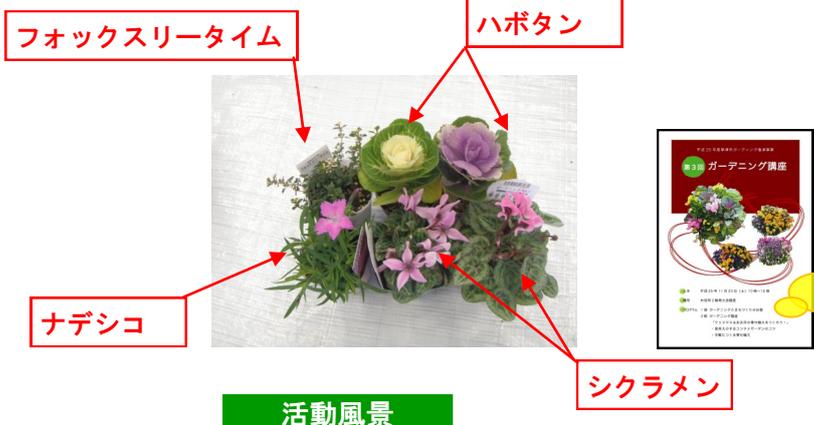
1. 第3回ガーデニング講座開催

11月23日(土)、「第3回ガーデニング講座」を行い、95名の方々に御参加いただきました。講師に高田先生を迎え、「クリスマスとお正月の寄せ植え」講座を行いました。苗が成長してもゆとりができるように放射線状に苗を入れていくのがコツなど、先生の指導を受けながら、4種類6株の苗をどのように入れるか各自イメージを膨らませ、寄せ植えを制作しました。

講座の中では、趣味を通じた仲間づくりなど、サークル活動の魅力を会員からPRする場面もあり、新たに10人の加入申込みをいただきました。

講座で使用した苗

- ・ハボタン2株
- ・シクラメン2株
- ・フォックスリータイム、ワイヤープランツ、アイビー、スイートアリッサムから1株
- ・ナデシコ、モクビャッコウ、コバノモクビャッコウから1株



当日の資料は草津市ホームページに掲載しています。
<http://www.city.kusatsu.shiga.jp/>
 「トップページ→学ぶ・楽しむ→公園→ガーデニング」から御覧ください。

草津市facebook 更新中!!!

活動風景

参加者の作品



2. ガーデン名決定！！

南草津駅東山道記念公園

グラッシーガーデン「陽だまり」

10月26日(土)、お手入れの場で名称を決めました。



3. ガーデニング先進地視察ツアー実施

10月5日（土）、ガーデニングサークル主催のバスツアーを実施しました。
当日は35人の方々に御参加いただきました。

- 宝塚ガーデンフィールズ「シーズンズ」（兵庫県宝塚市）
英国人デザイナーが手がけたナチュラルガーデン、
宝塚の風土に合わせて厳選された約1,500種類の
植物が完全無農薬で育てられています。



- 「風雅舎」（兵庫県三木市）
オーナーのガーデナー加地一雄氏が展開するモデルガーデン
ショップ、カフェがあるナチュラルガーデン。



- 風雅舎施工の個人邸ガーデン（兵庫県三田市ゆりのき台周辺）



4. パワフル交流市民の日にガーデニングサークルPR

11月16日（土）、市民ふれあい秋
まつりが草津市役所で行われ、南草津駅
東山道記念公園のモデルガーデン制作時
の活動風景や通信等をパネルで紹介し、
当日参加いただいた会員の方手づくりの
寄せ植えを展示しました。当日は、5人
の会員の方にPRしていただきました。
作成した寄せ植えは、講座でも展示しま
した。



5. 今後の活動予定について

1月の第四土曜日のお手入れは講座と重なるため、お休みいたします。
その振り替えとして、1年草の植えつけを下記のとおり行います。

次回の活動日（荒天中止）
平成25年12月21日（土）10時

10時～

南草津駅東山道記念公園

11時頃

草津駅前デッキ

本陣・本町エリアの
商店街

6. 第4回ガーデニング講座 参加者募集

ガーデニングによるまちづくりと年中楽しめるインテリアガーデン

○日時 平成26年1月25日（土）午前の部10時～12時

午後の部13時30分～15時30分

○場所 草津市役所2階特大会議室

○定員 各40名（※先着順となりますので、お早めに申込ください。）

○参加費 1,200円（ガラス容器（直径約12cm）・観葉植物・ハイドロボール）

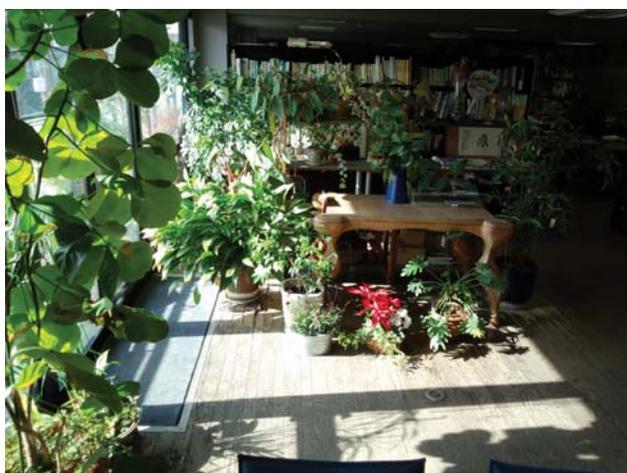
○持ち物 大きいスプーン（ガラス容器にハイドロボールを注ぎます。）

※12月12日（木）～1月10日（金）までに（12月28日～1月5日は年末年始休み）

電話・FAX・Eメールで氏名・電話番号・住所を書いて公園緑地課まで申し込んでください。

第2部 ガーデニング講座

「年中たのしめるインテリアガーデン」 観葉植物を使った身近な緑の取り入れ方



インテリアグリーンのイメージ



観葉植物の基礎知識

1. 観葉植物とは

観葉植物は、葉の色彩、斑の模様、葉姿が変化に富み、鉢植えの草姿を觀賞する植物。アナナスやスパティフィラムのように、葉と花を觀賞するもの(花観葉)もある。

〈特徴別の楽しみ方〉

葉の模様・色彩を楽しむ	模様 ：フィットニア、ピレア、カラテア、マコヤナ、アローカシア、ペペロミアなど 色彩 ：ネフロレピス、アジアンタム、プテリス、カラジウム、クロトン、コリウス、セトクレアセア、ロエオなど
つるの性質を楽しむ	ヘデラ、シンゴニウム、カリシア、フィロデンドロン、シッサス、ブライダルベール、トラデスカンチア、ミドリノズ、ポトス、ハートカズラなど
葉形を楽しむ	モンステラ、ウツボカズラ、フィロデンドロン、プラチセリウム、ディスキディア、ヤシ類、サンセベリア、シペラスなど
茎を楽しむ	パキポディウム、ユッカ、トックリラン、パキラ、ペディランサスなど
花を楽しむ	アナナス類、アンズリウム、ベゴニア、アフェランドラ、ストレリチア、アブチロン、エスキナンサス、コルムネア、エписシアなど
実も楽しむ	コーヒーノキ、バナナ



ドラセナとプミラ

観葉植物のふるさとは、赤道を中心に、南北回帰線あたりまでの熱帯・亜熱帯が多く、部分的に温帯がある。

熱帯降雨林のような雨の多い地域のもの、空中湿度が高く、大木やヤシに着生しているもの、雨が少なく乾燥している地域のものなど、それぞれ自然条件が異なっている。

また、熱帯でも高い山がふるさとだったりするなど、意外に低温に強い種類もある。



スパティフィラム



ドラセナ



フィットニア

2. 光

植物は光のエネルギーを使って、水と炭酸ガスなどから生命活動の養分をつくっているため、適度な日光がないと育たない。ただ、室内では人工照明（普通の電灯）で補完する。

観葉植物はそれぞれ、必要とする日光量が異なる。その植物のもつ特有の美しさを楽しむには、適量の日光量を選ぶことが大切である。植物により、日の当たる窓際に置くか、電灯だけで育てるかの違いが生じる。

その場所が植物に合っているかどうかは、新芽を見ると、ある程度判断できる。水やりの量、肥料、温度などが関係して一概に言えないが、新しい芽が伸びてきたとき、茎が軟弱で、節間が長くなるようなら光不足。

3. 水やり

観葉植物を上手に育てるのに、水やりは欠かせない。しかし、水をたくさん与えれば良いというものでもない。種類、時期、置き場所によって水やりが異なり、水やり次第で生育が大きく左右される。

(1) 季節で異なる水やりの量

生育盛んな夏は十分水やりをし、生育の止まる冬は水やりの回数を控えめにする。5月中旬から9月中旬は温度も高く、生育が良いので、水不足にならないようにする。

水やりのコツは、鉢土の表土が少し乾いたら、鉢底から水がしみ出るくらいにたっぷり与えること。しかし、乾きすぎてからでは新芽や葉がしおれ、落葉の原因になる。

冬は生長がゆるやかで、ほとんど休眠状態になるので、水の必要量は少ない。温度も低く鉢土もあまり乾かないので、水やりの回数はかなり少なくなる。水やりの時間は、暖かい日の午前10時ごろにする。春と秋は、夏と冬の間くらいの水の与え方で良いが、鉢土の表土の乾き具合を見て、乾いたら十分に与える。

〈水やりの方法〉



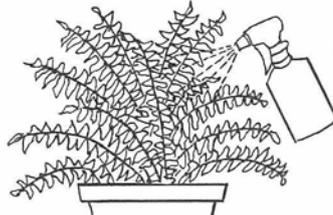
手でさわって鉢土の乾き具合を確認する



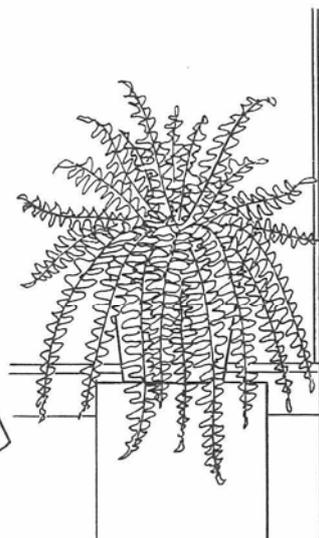
水を張って小石を置き、鉢の周りの湿気を保つ



鉢土が乾いてきたら、水が鉢底から出るまでたっぷり与える



スプレーで葉水をときどき与える



風通しのあるなして鉢土の乾き方が違う



素焼き鉢



プラスチック鉢

鉢の材質によって乾き方が違う

4. 肥料

限られた鉢の中での生育だから、生育具合をよく観察して肥料を与えることが必要。

(1) 生育期に肥料を与える

観葉植物が日本でよく生育するのは5～9月。この時期に肥料が効くようにする。寒さに強い種類は、4月と10月にも与えてよい。茎や葉や根がどんどん生長している時は、肥料を与えて生育を促すと丈夫な株になる。逆に、11～3月の生育の止まっている時に肥料を与えると、肥料あたりして弱ったり枯れたりする。しかし、冬も十分に保温されていれば、肥料を与えてもかまわない。

(2) 肥料の種類

肥料効果が徐々に現れる緩効性肥料と、速効的に現れる液肥を使用する。緩効性肥料には、油かす、骨粉のような有機肥料と化成肥料などのような無機質肥料がある。

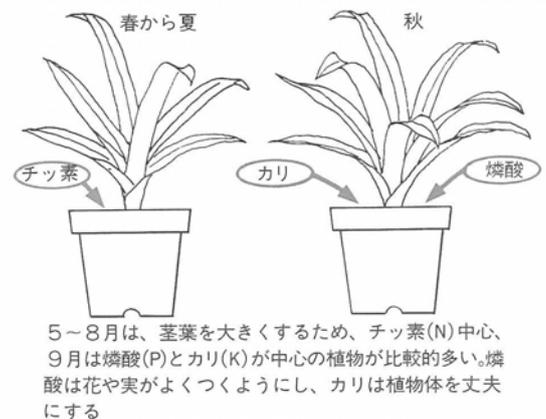
置肥は、水で分解され、土にしみ込んで吸収される。室内ではにおいのない肥料がよい。

(3) 生育中の肥料

園芸植物は、肥料を工夫して管理すると、驚くほど生育する。しかし、どっと多量の養分を施しては肥料あたりしてしまう。逆に、少なくともは生育が貧弱になる。一番良いのは、少量の肥料をたえまなく与えること。しかし、家庭では手間がかかりすぎてできないだろう。一般的な考え方は、4号鉢(直径12cm:鉢の大きさに3を掛けた寸法)で、1～2ヶ月に1度、粒状の緩効性肥料を4～5粒、油かすなら親指の先程度の量を与える。液肥なら、1,000倍液を1ヶ月に2～3回、水やり代わりに与える。

〈植物への主な肥料の働きと不足症状〉

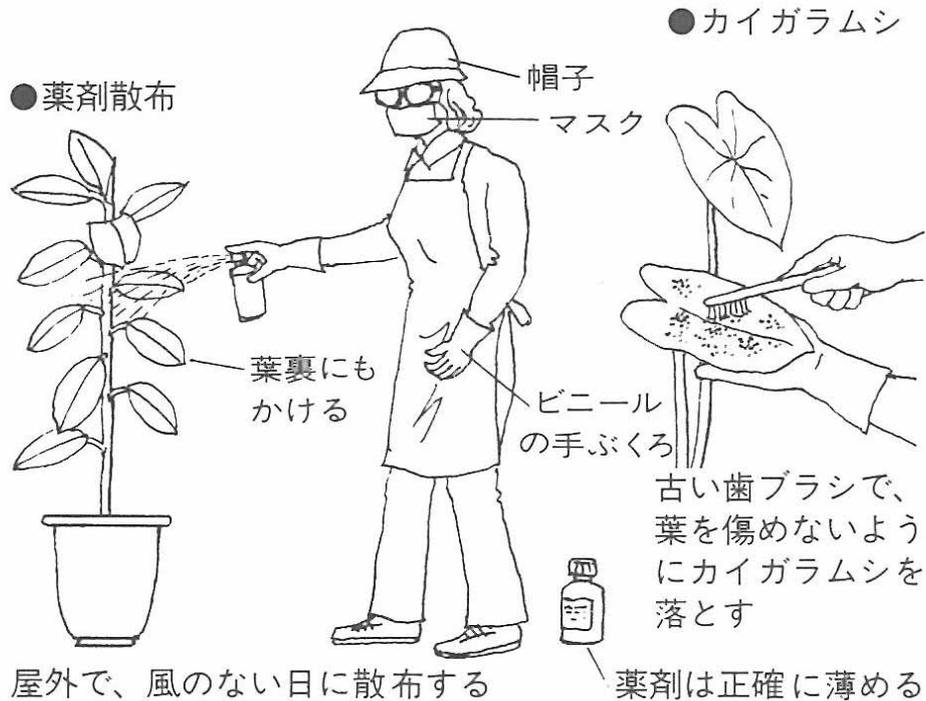
	働き	不足すると
窒素	茎葉を大きくする。また、葉緑素をつくり、葉の色を濃くする。	葉色が薄くなる。生育不良で植物体が小さく、古い葉から黄化する。
燐酸	(P)細胞分裂が盛んで、根・茎・葉の数を増やし、花や実もよくつく。生理作用と関係が深く、細胞のたんぱく質などをつくる。	根の伸長を抑制し、成熟を遅らせる。緑葉に褐色斑点、ひどい場合は葉全体が黄変し、生育が止まる。
カリ	(K)生理作用を調節。糖、たんぱく質、でんぷんをつくり、移動蓄積する。	古い葉の葉脈間、葉の周りが淡黄色になったり褐色の斑点が出る。
カルシウム	(Ca)ペクチンと結合して細胞膜をつくる。有機質を中和したり、たんぱく質をよい状態に保ち、他の養分の吸収を調節。	葉が帯状に黄化したり、緑が褐色に変わる。



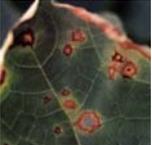
5. 病害虫

観葉植物は、ほかの鉢もの、切り花と比較すると病害虫に強い。しかし、被害にあうと、観賞価値が低下し、生育も悪くなる。病気の被害は少なく、害虫の被害がほとんど。

植物は健全に育つと病害虫もつきにくい。日頃、水やり、日光、温度、湿度、風通し、植替え、施肥などを適切に行なっていれば、健全な株になる。しかし、管理を適切にしても病害虫は発生するので早期に防除する。



〈主な病気〉

<p>褐色病</p> 	<p>葉に円形や楕円形の斑点ができ、さらに広がると細長い病斑になる。 【被害植物】ドラセナ、テーブルヤシ、モンステラ、フィロデンドロンなど</p>
<p>炭そ病</p> 	<p>葉に円形や楕円形の斑点ができ、被害が進むと不整形の病斑になる。 【被害植物】アナナス、クロトン、ゴムノキ、エスキナンサス、ドラセナ、サンセベリアなど</p>
<p>灰色かび病</p> 	<p>長雨で風通しが悪いなど、多湿条件下で花や新葉に発生、灰色のかびが出る。 【被害植物】ベゴニアなど</p>
<p>軟腐病</p> 	<p>株や球根が黒くなって腐る。 【被害植物】カラジウム、ホヤなど</p>

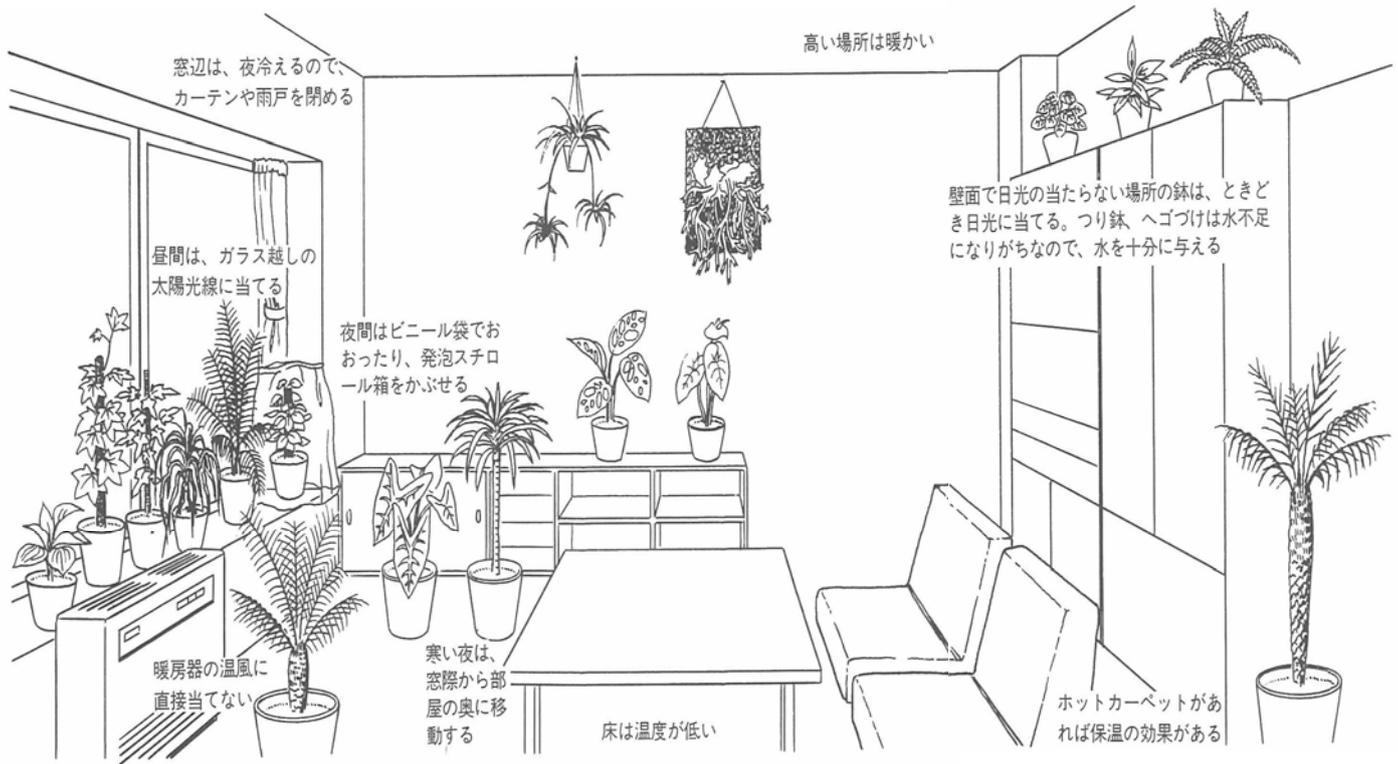
〈主な害虫〉

<p>カイガラムシ</p> 	<p>よく発生し、葉の表裏や茎にこびりついて汁液を吸う。 【被害植物】ゴムノキ、クロトン、ヤシ、ドラセナ、観音竹など多くの植物</p>
<p>ハダニ</p> 	<p>高温乾燥時に葉裏に発生。汁液を吸い、被害が出て葉が白い斑点状になる。 【被害植物】アカリファ、カラテアなど</p>
<p>アブラムシ</p> 	<p>1～2mmの虫で、新芽、花芽など柔らかい部に発生し、汁液を吸う。 【被害植物】アフェランドラ、カラコエ、カゲツなど</p>
<p>ナメクジ</p> 	<p>日中、湿度の高い場所の鉢裏や葉裏に隠れていて、夜間に葉を食害。 【被害植物】アジアンタム、アスプレニウム、スパティフィラム、ヒポエステムなど</p>

6. 冬越し

置き場所の工夫……家庭は部屋によって温度が違う。北側の部屋より南側、しかも暖房している居間のような暖かい部屋に置くことが、冬を無事に越させることになる。夜間は部屋の隅より、中央の方が暖かい。寒い時期、戸外の寒風にさらす人もいるが、天気が良いと思っても冷たい風に一度でも当てると凍傷を起こす種類があるので注意する。

〈冬越しの工夫〉



(1)水やりと肥料

秋から水やりを徐々に減らしていく。水やりは、置き場所、種類によっても違うが、一般的には、冬は鉢土の表面が乾いて数日してから与える。鉢内を乾燥気味にしたほうが寒さに耐える。暖房の効いた部屋は、湿度不足になるのでスプレーで葉水を1日1～2回与えると良い。肥料は冬の間、必要ない。肥料を与えると逆に枯らしたり、弱らせたりしてしまう。温度が夜間でも10℃以上保てれば、薄い液肥を月1～2回与えることができる。

(2)日光にあてる

冬の日光量は真夏に比べると半分以下になる。日照時間も短くなってしまうので、できるだけ窓際の日光下に置く。

ガラス越しで戸外と接する場所は、昼間、日光の熱で温度が高くなるが、夜間はどうしても温度の低い場所となる。厳寒期の夜間は、できれば暖かい部屋へ移動する。

7. 夏越し

熱帯・亜熱帯原産の植物が多い観葉植物は、夏を越すのにそれほど問題はないが、暑過ぎて生育が衰えたり、日光が強すぎて弱ったりすることがある。

(1) 半日陰で涼しい場所に

太陽光線の強い夏を越すには、遮光下に置くことが必要。遮光は光線量を減らし、温度の上昇を抑える。ヨシズや寒冷紗で50%程度の遮光にする。植物の1mくらいうえに寒冷紗^{*}などを張ると作業がしやすい。木漏れ日の下も日光が遮られて良い。

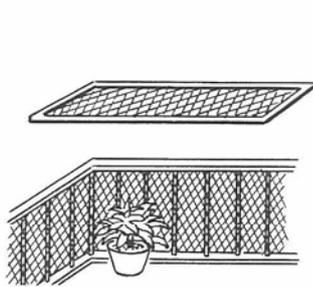
* 寒冷紗……目の粗い、薄地の綿織物。装飾、かやなどに使う。

(2) 風通しを良くする

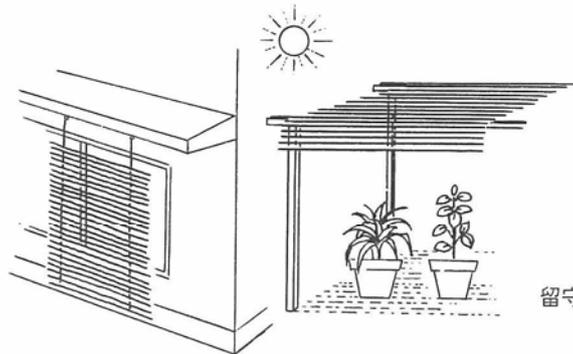
(3) 肥料は少なめに

暑さで弱っている植物は、肥料過多だとかえって生育が悪くなってしまう。幾分少なめに肥料を与えた方がよい。弱っている鉢には、生育具合を見ながら液肥を与えるようにする。

〈夏越しの工夫〉



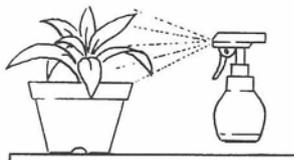
寒冷紗をベランダの周りに張ったり、コーナーに屋根をつけたりして、半日陰にする



太陽光線の入る部屋はヨシズ、スタレなどで半日陰にする



留守番対策：空カンの底に穴をあけ、ひもを通して水を与える。ひもの硬さ、太さで水量を調節



水やり以外にもスプレーで葉水をかける



室内に置きっぱなしにすると葉にほこりがつく。ぬれガーゼや薄いタオルで葉をふく



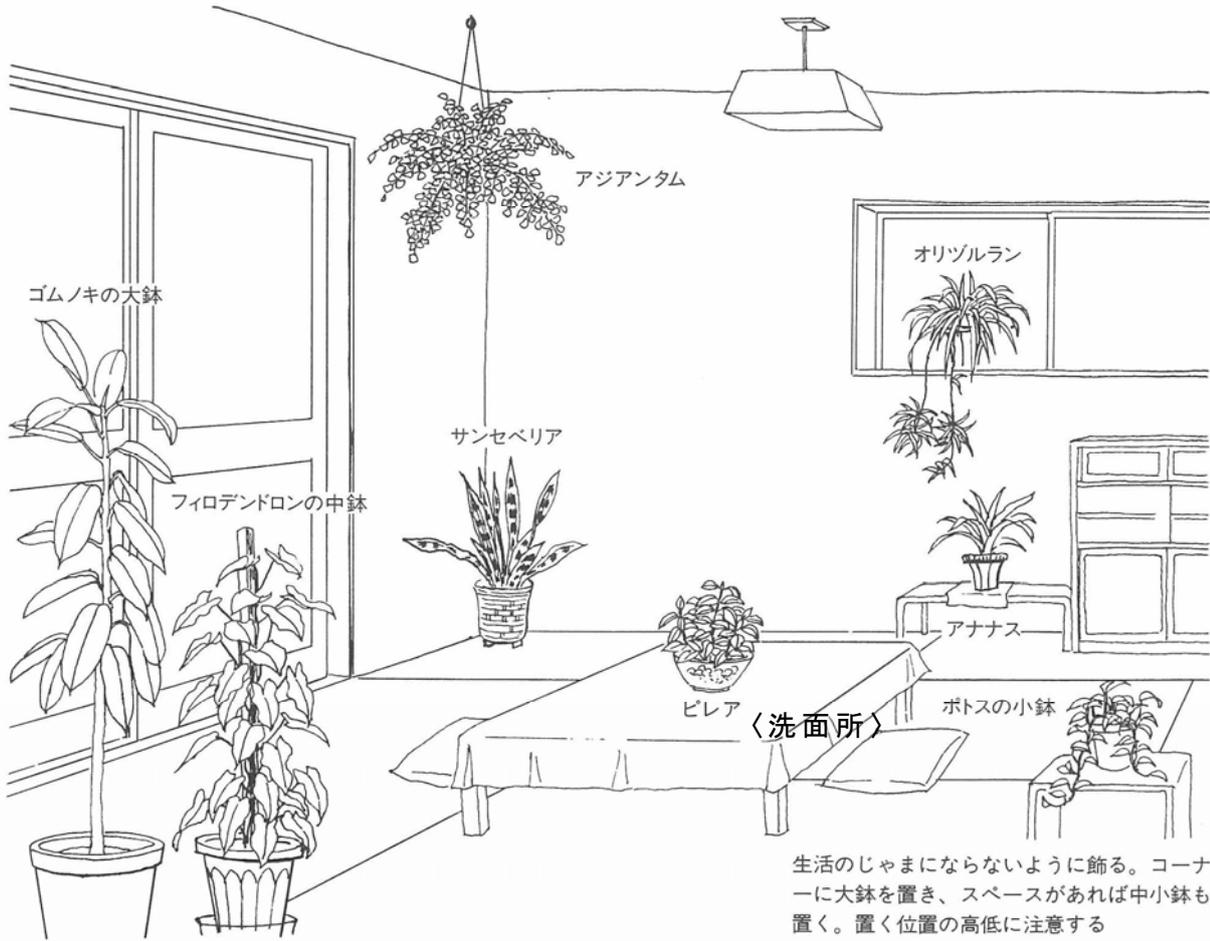
留守番対策：鉢を土の中に埋め込む

8. グリーンインテリア

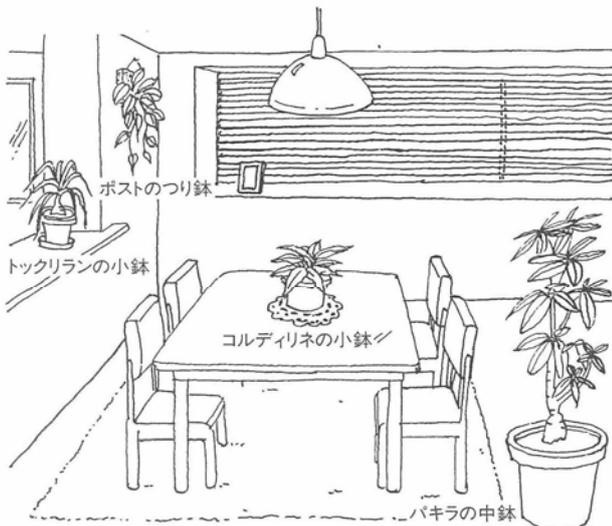
それぞれ観葉植物には、草姿、葉の形・模様・色など特徴があり、見所が違う。

テーブルの上に置いたほうが良いもの、床に置いたほうが良いもの、上から吊るしたり、壁面に掛けたりしたほうが良いものなどがある。特徴をつかんで使用する。

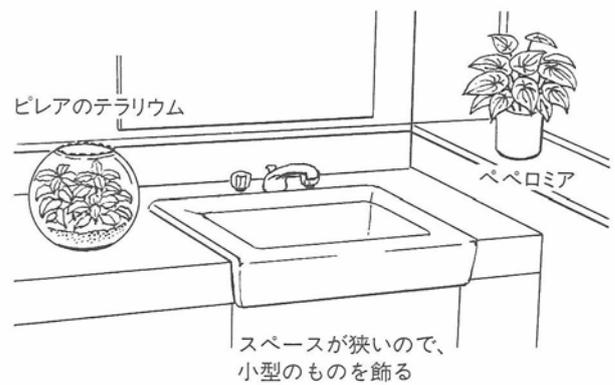
〈リビングルーム〉



〈ダイニングキッチン〉



〈洗面所〉



9. ハイドロカルチャー

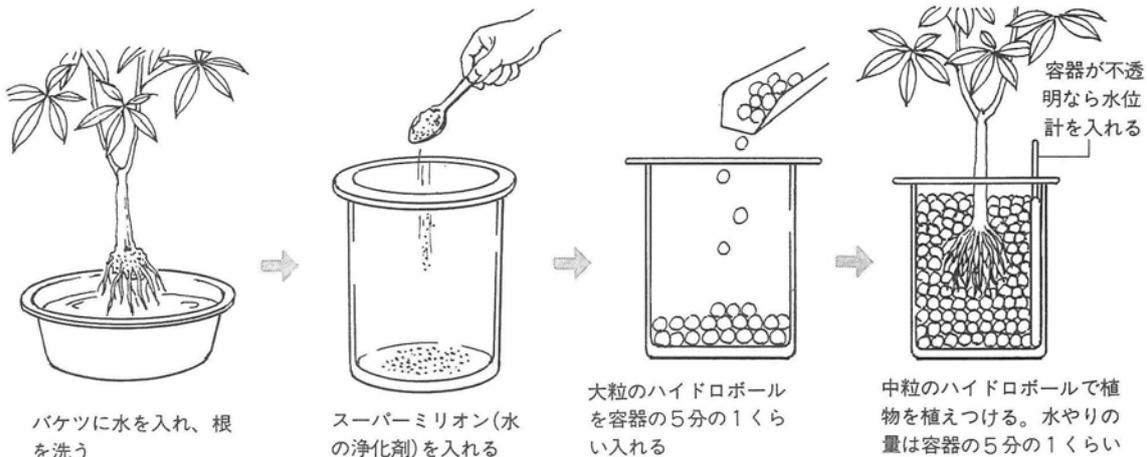
ハイドロカルチャーは、水耕栽培のうち礫耕栽培の一種。ハイドロ=水、カルチャー=栽培。

穴のない容器にハイドロボールを入れ、水で栽培する。水やりも月に2回くらいで良く、管理が非常に簡単なので、室内のグリーンインテリアとして最適。近年、非常に普及している。

置く場所は半日陰から明るい日陰。直射日光が当たると水温が上昇し、根が傷んだりして生育が悪くなる。

水やりは月2回くらいで、容器の4分の1から5分の1の高さが目安。不透明な容器は、水位計をセットすると、水がどの程度入っているか判断できる。

〈ハイドロカルチャーの植え付け方〉



〈ハイドロカルチャーの材料〉

ハイドロボール	粘土と水を混ぜながら、約1200℃で焼成発泡させた煉石(レンガより硬く無数の気孔を持つ)
イオン交換樹脂と珪酸白土	根の分泌する有害物質などをイオン交換作用で無害なイオンと交換する。イオン交換樹脂と珪酸白土を混合したもの(スーパーミリオン A)が販売されている。植え付けの時に容器の底に入れておく。
イオン交換樹脂肥料	イオン交換樹脂の補充として与えるが、肥料分も含まれている。6ヶ月に1回与える。

〈ハイドロカルチャーに適した観葉植物〉

簡単なもの	オリヅルラン、コルディリネ、サンセベリア、シェフレラ、シペラス、トックリラン、ドラセナ、パキラ、プレクトランサス、ユッカ、モンステラ、シンゴニウムなど
中級程度	トラデスカンチア、ゼブリナ、スパティフィラム、アンスリウム、ポトス、ペペロミア、ディフェンバキア、アグラオネマ、ヘデラ、シッサス、エレン、ダニカ、カラテア、マランタなど

●水管理の方法

